

## 平成21年度まちづくりセンター事業報告(11月現在)

H21.12.7

練馬まちづくりセンター

## ■相談事業

◇まちづくり相談・練馬区まちづくり条例に基づく支援

## 1. 総合型地区まちづくり

## ①高野台五丁目中央地区

<活動団体等> 高野台五丁目中央地区住みよいまちづくりを考える会  
(=練馬区まちづくり条例に基づくまちづくり協議会準備会)

<活動の趣旨> 戸建住宅中心の地区における中高層マンション計画を契機とした、住みよいまちのルールづくりに向けた活動

<主な経過>

地元のメンバーによる定例会を毎月開催することを決定、3月より定例会を開催

4月 総合型地区まちづくり協議会認定申請と体制づくりについて検討

5月 まちづくりニュースの全戸配布を通じた地区内への内容周知

「まちづくり準備会」から「まちづくり協議会」へのステップアップに向けて「メンバー登録の案内」を配布

6月 専門家・センター作成のたたき台をもとに建築物の高さのあり方等、  
具体のルールについて検討。

7月 前回に続き具体ルールの設定について検討。

8月 みどり・安全安心等について検討。

地区内に介護老人保健施設建築計画が浮上。

9月 介護老人保健施設計画の事業者説明会。

介護老人保健施設計画への今後の対応等についての意見交換。

→まちづくり計画の議論は継続、住民全体の意見を確認する必要。

建築計画事業者による地元説明会

→事業者が計画を取り下げ

10月 定例会やニュース(住みよいまちづくり)を中心とした取り組み  
準備会のスタンスや意見等の発信について。今後の対応を協議。

11月 地区計画や進め方の手順を再確認。

<活動支援等の状況>

- ・定例会における検討素材の提供、検討会における助言、まちづくりニュース作成支援、専門家派遣、活動実績報告作成支援等

## ②武蔵関地区

<活動団体等> 武蔵関建築協定運営委員会、武蔵関・環境を守る会

<活動の趣旨> 戸建住宅中心の地区における住民主体のまちのルール・運営のしくみづくり

<主な経過>

協定区域でのまちづくり（建築協定をまちづくり条例で補強）を指向し地区計画からまちづくり条例の総合型地区まちづくりへ方針転換

4月 区域内アンケート実施 まちづくりの課題、必要性、参加意向等について調査。⇒8割以上の回答と、約9割のまちづくりへのとりくみの賛同意向を得た。

5月 地元総会で取組方針等承認。まちづくり検討会で検討を進めていくことが確認された。

6月 区と今後の方向性について調整と確認を行った。

「まちづくりの理念・目標」、「ルール」、「ルール運用のしくみ」からなる「まちづくり計画」を作成することを確認し、具体の検討に入った。

7月 ルール、敷地規模、協議会設立認定申請について協議。

9月 ルール案、協議会運営について協議。

10月 協議会設立認定申請に向け、練馬区との意見交換会を実施。臨時総会において会の規約の改定と確認。計画の理念と目標、方針等を協議。

11月 まちづくりのルール、計画運営のしくみ等について協議。

「総合型地区まちづくり協議会」の認定申請書を区に提出  
→11/20 協議会認定を受ける。

まちづくり計画に関するアンケート及び説明会の実施や計画案の認定申請に向けた取組をすすめる。

<活動支援等の状況>

・検討会等における助言、計画案の作成支援

## 2. 施設管理型地区まちづくり

○（仮称）石神井町八丁目公園の施設管理型地区まちづくり相談・活動支援

<活動団体等> みんなの広場住民協議会、特定非営利活動法人公園づくりと公園育ての会（＝施設管理型地区まちづくり協議会）

<活動の趣旨> 地域住民主体の公園利用・運営・管理の実現に向けた取り組み

<主な経過>

施設管理型地区まちづくり計画素案「公園育て計画（案）」作成・提案

4月～ まちづくり協議会と区公園緑地課により、今後の進め方や個別事項等について協議を進める。

5月 まちづくり協議会が施設管理型地区まちづくり計画案「公園育て計画

- (案)」の改訂版を作成し、区公園緑地課に提出
- 7月 施設管理型地区まちづくり計画案「公園育て計画(案)」の住民説明会を開催(周辺約1000戸に案内配布、約30名参加)。  
まちづくり計画案の提案・普及に係る活動を対象とした「地区まちづくり活動費助成金」の交付
- 協議会と区公園緑地課で公園管理運営の詳細を検討中。  
他の事例見学など管理運営の実態把握についてセンターによるサポートを行う。
- <活動支援等の状況>
- ・検討会等における助言、計画案の作成支援、活動費助成等

### 3. テーマ型まちづくり

#### ○景観まちづくり

- <活動団体等> Nerima 景観まちづくり会議 (=テーマ型まちづくり協議会)
- <活動の趣旨> 景観マスタープランに呼応するもの
- <主な経過>
- 5月 H21 年度まちづくり活動助成公開審査会において素案説明会を実施。
- 7月 区景観計画検討委員会にて素案の説明。  
テーマ型まちづくり提案の案を区に提出。
- 10月 都市計画審議会まちづくり提案担当部会において、提案の案及び区の見解書が示され、意見聴取が行われる。
- 11月 都市計画審議会において提案について報告。
- <活動支援等の状況>
- センターより定例会に参加し助言と意見交換を継続している。
  - センターをプラットフォームとした活動への協力を進める。

### 4. まちづくり協議会等への活動費助成

- 今年度より「財団法人練馬区都市整備公社地区まちづくり活動費助成金交付要綱」に基づき実施。交付対象については、従来の「総合型地区まちづくり協議会」のほか、「総合型地区まちづくり準備会」、「テーマ型まちづくり協議会」、「施設管理型地区まちづくり協議会」を含め拡充された。
- ・7月に、施設管理型地区まちづくり協議会「特定非営利活動法人公園づくりと公園育ての会」より申請があり、交付を行った。
  - ・8月に、テーマ型まちづくり協議会「Nerima 景観まちづくり会議」より申請があり、交付を行った。

## 5. まちづくり協議会等への専門家派遣

従来、別立てであった練馬区のまちづくり協議会への専門家派遣要綱と、都市整備公社独自の専門家派遣要綱が「財団法人練馬区都市整備公社まちづくり専門家派遣要綱」に一本化された。これに伴い、派遣の対象となる活動は、総合型地区まちづくり協議会・準備会の他、初動期のまちづくり活動、施設管理型地区まちづくり協議会、テーマ型まちづくり協議会についても派遣対象とし、派遣回数も拡充された。

- ・ 4～11 月派遣実績：武蔵関地区 4 回、高野台地区 1 回、春日町サンリーム商店街 1 回。

- ◇（社）東京都建築士事務所協会主催の建築無料相談の後援  
→ 月 1 回実施。利用件数（4～11 月計 27 件）

### ■ 普及啓発（情報提供と学習機会の提供）

- ◇ 情報誌「こもれび」の発行（1万2千部）

- ・ 第 37 号 特集「ご近所のこと気になったら・・・」（4 月）  
まちづくりセンターの相談事業紹介、条例を使ったルールづくり
- ・ 第 38 号 特集「江古田ストーリー」（6 月）  
まちあるき特集。まちの声・想いを通じ、まちの魅力を紹介。  
新たに町会回覧板への配布を開始。駅配布数の見直し。
- ・ 第 39 号 特集「大泉に眠る宝を探ろう」（10 月）  
地域における様々な資源を生かしながら、まちづくりを行う人々の思  
いやまちの魅力を紹介。  
次号 北町地区を特集予定（2 月発行）

- ◇ まちづくり講座

- ・ 第 1 回「まちを流れる湧き水と雨水の楽しみ、白子川流域の魅力」（8/23 実施）  
講座に併せ、白子川周辺のまちあるきを行い、講座内容についての理解を深める形として実施。白子川流域での湧水や雨水を楽しむような空間づくりについて様々な事例紹介や提案をいただきながら、身近な空間での活用方法や実現に向けた取組に関する内容。
- ・ 第 2 回「それって景観？みんなでつくろう練馬の景観」（11/14 実施）  
練馬区で景観計画の検討が進む中、私たちの生活やまちづくり活動がどのように景観に繋がるかについて、様々なまちづくり活動をしている方たちをパネラーとして招き、円卓会議形式で実施。

## ◇まちづくりカフェの開催

まちづくりに関するテーマを決め、話題提供者の話を聞き、参加者同士で議論を交わしながら、センターサポーターを始めとした参加者同士が交流する場を提供していく。

## ・第5回「ドイツのまちづくりって～Part 2」6/19 開催

→昨年度に引き続き、ドイツで活動されている建築家を話題提供者に迎え、今回は「ドイツ流まちづくり相談所」と題して、まちづくりに関する相談、質問に話題提供者が答えながら、まちづくりへの関わり方について考える内容として実施。

## ・第6回「ネリマの楽しみ方を編集する」7/2 開催

→6月に発行された「練馬区 Walker」の編集者の方を迎え、取材を通じて感じた練馬の魅力やまちの楽しみ方を見つけるといった内容などをテーマに実施。

## ・第7回「ネリマの“お休み処”に名前をつけたい」7/30 開催

→商店街に設置したベンチを気軽に利用していただけるような方法をテーマに、会話の弾む空間づくりについて議論した。

## ■まちづくり活動支援事業

## ◇まちづくり団体への活動助成

## ・たまご部門

→審査員による書類審査により1団体に助成決定。(H21年11月25日現在)

申請グループ名	活動概要	助成額
南田中のまちを考える会	定例会「南田中のまちを考える会」の実施 講座の開催と広報活動	3万円

## ・はばたき部門

「まちづくり活動助成」(5/24 公開審査会) 実施、助成団体決定。

→ 表の通り

団体名	テーマ	助成金額
光が丘まちづくりフォーラム	かえる池再生を通じて地域の環境について考える。	229,230
石神井・冒険あそびの会	プレーパーク活動が地域に貢献できることを何かについて、シンポジウムを開き、意見交換を行う。	146,500
ネリマ・ベジタブルカフェ	ワカモノが農を楽しむ暮らしを過ごせるようなキッカケづくりを行う。	227,900

団体名	テーマ	助成金額
中村小学校グリーンキーパーズ	芝生を通じた防災コミュニティ	200,000
まっぶす	千川上水緑道の樹木の移植場所を地域住民と考える。	170,000
ねりま・ごみフォーラム	生ごみ回収を介した農家と区民の理解・交流の促進	277,800
東京建築士会練馬支部 木の香る住まいづくり部会	木の香る住まいづくりセミナー2009の開催	— 再チャレンジ 辞退
泉新小あそびの城 実行委員会	昔遊びを通じて、地域の方と交流や子どもたちの居場所づくりを行う。	143,960
アーティスト・イン・児童館 実行委員会	アートを使って「まちと子どもが遊び合う日常」をつくる	193,600
なじみ研究会	石神井川の今と昔を地図上で比べたり、実際に現地を歩いてみたりしながら、これからの練馬の暮らしについて考える。	134,600
自然環境ねりまくらぶ	～ 区の木、こぶしに市民権を ～	102,580
白子川源流・水辺の会	白子川源流（区立大泉井頭公園）の水辺環境の保全回復活動を通じて“白子川のまち”づくりを目指す。	170,000

・「中間報告会」10/24 開催

助成を受けた団体の活動の進捗状況と活動における課題について意見交換を行うとともに、小泉審査委員長によるミニ講演『協働のまちづくりによる仕組みづくり』を行った。また、中間報告会に先立ち『わがまちの魅力発掘まち歩き-光が丘～旭町編』を同時開催した。

・テーマ部門「いきものまちづくり」

3月 H20年度団体助成のうち、2次審査による1団体への上半期の整備活動助成を決定。整備活動助成団体＝「蝶鳥大好きエコクラブ」

残り2団体は中間報告会において2次審査に申請。

・H21年度については事前学習会を実施（5～9月）計6回

・上記中間報告会と併せ、第2次活動中間審査と公開審査会を実施。

→ 結果については表の通り

団体名	テーマ	助成金額
蝶鳥大好きエコクラブ	石神井川を中心に蝶の食草や、鳥の食樹などを植栽し、練馬のみどり大切にされるような、ヒトもいきものも住みやすいまちにしていく。	250,000 (2次活動下半期)
練馬まち環境倶楽部	ミニビオトープ花壇による、昆虫達の楽園づくり。	1次活動継続 (H22年11月まで)
インセクトカフェ	稲荷山図書館をいきもの活動の発信地とし、練馬区のいきものまちづくり推進のためのきっかけを作る。	500,000 (2次活動)
アートとエコの江古田づくり	ミツバチを通じた花いっぱい運動など環境の向上。蜂蜜による江古田ブランド品作り。環境教育や地域コミュニティの醸成。	100,000 (1次活動辞退)

## ■まちづくりに関する調査研究

### ◇地域景観資源調査

#### ・市民がはじめる身近な景観まちづくり活動勉強会

第1回 (8/25) 神奈川県秦野市の庭先協定、横浜市のまち普請事業などの事例を織り交ぜながら、身近な景観づくり活動の地区まちづくり・景観まちづくりに与える意義・効果について事例について議論した。

第2回 (9/8) 埼玉県戸田市三軒協定、世田谷区「地域共生のいえづくり支援事業」などの事例を通じて、ハード事業がコミュニティ形成に果たす役割について議論した。

### ◇市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議

・6/8 横浜市において第2回総会に参加。前年度の活動報告と本年度の活動計画を確認、本年度の事務局を練馬まちづくりセンターが担うこととなった。

・9/18 千代田区で開催された会議に参加。活動助成事業に関する各団体との意見交換を行った。

《参加団体》(財)世田谷トラストまちづくり、(財)まちみらい千代田、横浜市都市整備局、としま未来文化財団、高知市民活動サポートセンター、福山市、(財)名古屋都市センター、草加市、(財)練馬区都市整備公社

### ◇インターンシップ(学生実習生受け入れ)事業

・6月より公募、3校(3名)を受け入れ決定

・7~10月間に順次受入をおこなった(実習期間約2週間)

《受入校》東京大学工学部、東京理科大学理工学部、信州大学農学部、芝浦工業大学システム工学部(受入順)

## ■区、事業者等のまちづくり事業に対する支援と協働

### ◇福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業

- ・応募事前相談
- ・プレゼン研修会（5/29）
- ・公開審査会の企画・実施（6/14 開催）
- ・ニュースレターの企画編集作成、ホームページ作成
- ・秋季募集対応、中間報告会の企画・実施（10/31 開催）
- ・自己資金確保のための研修会（10/9）、自己資金確保研修としてのフリーマーケット開催支援（11/3）
- ・助成団体を対象とした専門家派遣の実施

### ◇バリアフリー区民意見反映制度検討

既存建築物へのバリアフリーアドバイスの仕組みをつくることを目的とした業務。先進地視察や、改修計画がある区立施設において、ワークショップ等によりバリアフリーに関する意見聴取や制度設計に必要な課題の抽出に取り組む。

- ・大泉西出張所グループインタビュー、利用者アンケート（6/11, 12）→調査まとめ
- ・石神井台敬老館への対応協議
- ・先進地事例調査（神奈川県逗子市、鳥取県等）

### ◇地域福祉情報誌の発行

区の保健福祉関連事業の告知や地域活動助成金の情報、地域福祉団体の活動紹介やイベント告知などを内容とした広報誌を発行。

- ・6月に創刊号発行。8月に第2号・10月に第3号発行。

### ◇農地と共生したまちづくり

減少する緑の保全と創造を目的として練馬区「みどり30推進計画」に位置づけられた農地と共生したまちづくりを検討、支援することを目的とした業務。

- ・「都市農地協議会」（区都市農業課主催）にて昨年度調査結果等を報告（5/25）
- ・モデル地区による具体的検討などについて区都市計画課と協議。
- ・実践候補地区の抽出の検討。制度・事業手法の実効性向上や、コーディネート事業の枠組みについて検討をすすめている。

## ■みどりに関する取り組み

練馬区におけるみどりを育む活動を推進するため、区内のみどりの資源的価値の把握など、みどり空間の保全・創出に向けた方策についての調査・研究。

区内において動植物が生息・生育し、次代を担う子どもたちが身近に触れる生命を増やし、みどりが質的に豊かになるネットワークや仕組みのアイデア提案集として、練馬区バイオネット構想「いきものつながり」の策定を目指す取り組みを行っている。

- ・ワーキング検討会の実施（第1回 7/23、第2回 9/4、第3回 10/27、  
現地ワーク 11/26）
  - ・20年度に検討した方向性に基づき、練馬独自のネットワークの姿像の構築を検討。いきものを呼ぶアイデア集（素案）を作成する。
- 練馬区バイオネット「いきものつながり」のネットワーク検討を行っている。

## ■他の報告事項

- ・区の景観計画策定検討委員会に委員として参加
- ・東京大学都市工学科3年生演習への協力
- ・韓国・清州市景観国際シンポジウムへの講師派遣
- ・区NPO活動支援センター事業 NPO交流会「NPOと助成金」講師派遣
- ・国土交通大学の研修への協力（区からの要請、江古田駅周辺踏査引率）
- ・柏の葉アーバンデザインセンターシンポジウムへの講師派遣
- ・区NPO活動支援センター事業 NPO交流会「NPOと助成金」・「NPOの広報の仕方」講師派遣
- ・白子川源流まつりへの後援と出展 10/18 大泉井頭公園にて開催  
まちづくりセンターとしてブースを設け、センターの情報を発信。